

景況レポート・2月

2月の県内景況は、大雪により著しく悪化。来月の回復に期待。

情報連絡員による平成26年2月の県内中小企業の景況は、業界全体として「低調」とするところが46.7%（前月比+6.7）、「横這い」は28.3%（同-6.7）、「好況」は25.0%（同+0）となっており、業界全体の「景況感DI」は-21.7（同-6.7）となっています。

1. 全産業の項目別前年同月比DI値の動き

◇「売上高」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」「雇用人員」が前月と比較して減少しています。

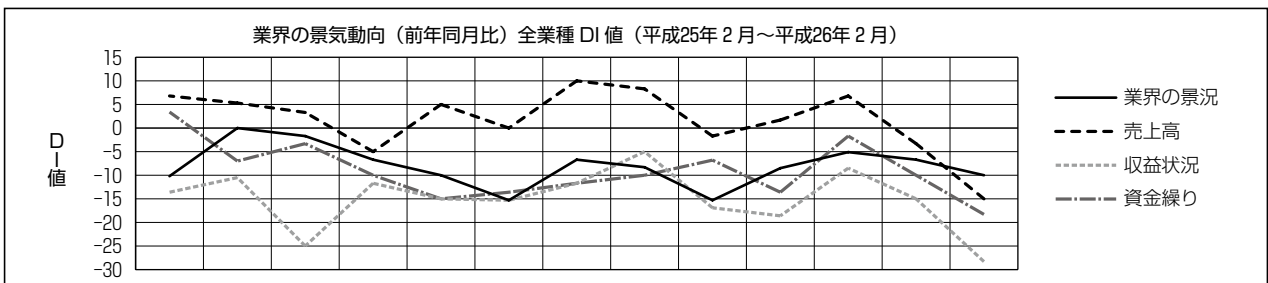
2. 業種別の「業界の景況」

◇前年同月と比較して、鉄工機械製造業、サービス業、建設業は「快晴」または「晴れ」、食料品製造業、繊維製品製造業、木材木製品製造業、その他の製造業、卸売業は「薄曇り」または「曇り」、その他の業種は「雨」または「大雨」となっています。

※DI値 +30以上「快晴」 +10～+30未満「晴れ」 -10～+10未満「薄曇り」
-30～-10未満「曇り」 -50～-30未満「雨」 -50以上「大雨」

◇来月の見通しは、好転、やや好転の見込みとの回答が35.0%（前月比+18.3）と増加しております（好転の回答2件、やや好転の回答19件）（製造業10、非製造業11）。また、やや悪化、悪化の見込みは、11.7%（前月比-20.0）と減少しております。変わらないが、53.3%（前月比+1.6）と増加しております。

平成26年2月の景況について、情報連絡員からの報告は以下のとおりです。（回収率100%）



	平成25年2月	平成25年3月	平成25年4月	平成25年5月	平成25年6月	平成25年7月	平成25年8月	平成25年9月	平成25年10月	平成25年11月	平成25年12月	平成26年1月	平成26年2月
業界の景況	-10.2	0.0	-1.7	-6.7	-10.0	-15.3	-6.7	-8.3	-5.1	-8.5	-5.1	-6.7	-10.0
売上高	6.8	5.3	3.3	-5.0	5.0	0.0	10.0	8.3	-1.7	1.7	6.8	-3.3	-15.0
収益状況	-13.6	-10.5	-25.0	-11.7	-15.0	-15.3	-11.7	-5.0	-16.9	-18.6	-8.5	-15.0	-28.3
資金繰り	3.4	-7.0	-3.3	-10.0	-15.0	-13.6	-11.7	-10.0	-6.8	-13.6	-1.7	-10.0	-18.3

木材・木製品製造業

<製材業>

2月の2度の大雪で原木（丸太）の出材への影響が大きいが、製材工場は在庫丸太を確保しており、価格の上昇には至らないと思われる。一方製材品の品薄感は幾分和らぎ引き合いも落ち着いてきているが製材工場は高値で手当した原木（丸太）を挽いているため製品価格は依然として高止まりの状況にある。

<外材輸入>

昨年末までの消費税駆け込み需要による製材品の値上げ機運は見られず、製品価格は横ばい、荷動きも低調に推移しており採算的には厳しい状況にある。

繊維・同製品製造業

<ニット>

原料系が円安ですべて価格が上がっており、秋冬物の製品受注に影響がでそうである。

<縫製品>

夏物の受注が増加し、生産量も増え多少売上の増加につながっている。各社とも操業度は上昇してきているが、収益状況は変わらず、まだまだ採算性が良くない。3月はさらなる上昇を期待している。

鉄鋼・金属・一般機械製造業

<各種プラント機器>

当組合のプラント設備関連業界は、見積もり引き合いとも前月同様、横ばい傾向で推移しており、この状況は今期末まで続くものと予想される。売上高並びに収益面は、ともに前年同月および前月と比較しても横ばい傾向であり、非常に厳しい状況である。4月以降の新年度予算等に基づく補修工事等の計画引き合いに期待したい。

紙・紙加工品製造業

<紙器・段ボール箱>

デフレからの脱却を目指してアベノミクスと称される大胆な金融政策が実施されたことにより未曾有の円高からの修正が進み、一部輸出関連の大手の段ボール箱業界は、経営状況が改善しましたが、私たち中小零細紙器段ボール箱業界においては、資材費・燃料費等のコスト負担増となって跳ね返り、さらには納入先が製品価格を消費者の生活防衛との声に据え置く傾向が強い中で、納入価格への転嫁もままならず収益を圧迫している。

印刷業

<印刷>

消費税値上げ前の駆け込み需要により、3月は前年比売上が伸びると思われる。しかしながら、4月以降の景気の落ち込みが心配である。

窯業・土石製品製造業

<陶磁器>

売上の低迷は冬期間は毎年だが、今年は特に落ち込みがひどい。今月は昨年同月の3分の1になった。大雪の影響により、客足が伸びない。

<砕石>

(県北地区)

1. 当月売上高の前月比 約28%の減
2. 当月売上高の昨年同月比 約23%の減
3. 今年度累計の昨年対比 約46%の増
4. 原因・状況 大雪により、除染および公共工事等への出荷が少なかった。

<生コン>

平成26年2月の組合員生コン出荷数量は、132,663㎡と対前年同月比3.9%の減。増加地区は東日本大震災等で被害を受けた道路、建物、港湾等復旧・復興工事が主たる要因。出荷数量の内訳は、民需が対前年同月比4.1%の減、官公需が8.4%の減であった。

■民需の動向

対前年同月比 4.1%の減

①対前年同月比増加地区

<県北地区> 15.6%の増

東北電力発電所(飯野町)新設工事、工場増築・増強工事等

<いわき地区> 16.8%の増

大王製紙工場増築工事、なこそ病院工事等

<相双地区> 2.6%の増

原発保安対策工事、常磐道浪江地区舗装工事等

<会津地区> 27.8%の増

会津中央病院増築工事、東山風力発電工事等

②対前年同月比減少地区

<県中地区> 31%の減

柏屋本店ビル新築工事、配送センター、低温倉庫建設工事等

<白河地区> 26.2%の減

工場、倉庫新築工事等

■官公需の動向

対前年同月比 8.4%の減

①対前年同月比増加地区

<県中地区> 4.2%の増

再生可能エネルギー研究施設工事、阿武隈川上流阿久津地区工事等

<相双地区> 12.6%の増

海岸保全施設整備工事、公共災害復旧工事等

②対前年同月比減少地区

<県北地区> 27%の減

栗子トンネル2期工事、月館高架橋下部工工事等

<白河地区> 45.1%の減

白河中央中学校、駅前西線道路工事等

<いわき地区> 5.7%の減

小名浜港7号追悼地区岸壁復旧工事、小名浜西防波堤工事等

<会津地区> 27.3%の減

喜多方市役所新築工事、西会津小学校新築工事等

食品製造業

<漬物>

会津地区は観光客が多く、良い状況のようです。全体的には厳しさが続いております。

<味噌醤油>

原料の米が不足しており、国産大豆の値上がりに加え、輸入原料大豆、小麦も高騰(高値)が続いている現状。風評の影響はまだまだ続いており、県産品の味噌醤油生産量は昨年同期(年間)に比べ大きく減少している。消費税増税が4月から実施されるが、さらに厳しい状況が懸念される。

<菓子>

2月は雪害により客足が遠のき、極端に売上が減少した。そのため収益状況は極めて悪化した。年間を通して3月は売上増が期待できるため、状況も好転するものと思われる。

<酒造>

今後消費税アップのための需要が多くなるが、4月以降の落ち込みが心配だ。風評被害は相変わらずで、他県に比べ落ち込みが大きい。

<食品団地>

食品においては、年間で一番消費が停滞する月であり、原材料・原油の高止まりや大雪の影響により、さらに厳しい状況でした。今後は県内消費の増加が優先であり、それに伴うイベントや観光への誘客につなげていくことが必要である。

小売業

<共同店舗>

(県中地区のOショッピングセンター)

2月は、バレンタインセールを実施しましたが、大雪のため、ほとんど来店客がなく営業時間を繰り上げる措置をとりました。(2回)売上が見込める土日に2度大雪が降り、来店客が減少、売上高も比例して減少し悪化をたどりました。売上は、前年度から74%、前月から71%と落ち込みました。飲食関係は前年度から売上高78%、来店客74%、前月から売上高76%、来店客78%でした。消費税8%に伴う駆け込み需要は、売り場ではまだ感じられません。消費税前の特需については、次月期待したいところです。

<石油>

2月、元売仕切価格は、若干値下がり傾向となった。しかしながら、記録的な大雪の影響から、売上販売は減少し、さらに洗車等の油外収益も減少する等経営に支障を及ぼした。

<水産物>

大雪のため、営業ができず売上が減少した。

<食肉>

大雪で大打撃。

<青果>

2月中旬、都心部において45年ぶりとなる積雪の影響により、品物が到着しないという状況があり品薄となり、品物によっては例年の価格の倍以上という高騰となった。実際、取扱量そのものが増加されたわけではなく価格に左右された。下旬からも低温が続いているので来月も高騰は続くと思われる。来月は春彼岸もあるので売上増加につながればと思う。

<電機>

消費税値上げ前の駆け込み需要があり動きが良くなってきたが、冷蔵庫、エアコン、また一部液晶テレビ(大型)の品不足が多くなかなか売上があがらない。ネットが値上がり傾向にあり。利益がとれにくくなっている。

建設業

<建設業>

(県一円)

東日本建設業保証株式会社の平成25年4月～平成26年1月(累計)取扱高によると、請負金額では前年同期の1.7倍で除染関連事業が6割弱を占めることである。

(県南地区)

記録的な大雪の除雪対応に追われ、工事及び除染業務を中断したため売上減少となった。年度末の工期に完了しない現場が多く見込まれる。

<管工事>

前月対比・前年同月累計対比とも給水・排水設備申請が増加している。

<専門工事>

記録的な大雪で、浜通り・中通りにおいてはパニック状態になった地域が発生した。交通機関のみならず、建築建造物にも被害が及び、地域インフラを保全するための余力たる建設業者の疲弊度合いが顕著に露見したのではないかと感じられる。反対に、例年の豪雪地帯には降雪量が少なく、除雪業務による収入補てんが見込めないなどの問題も発生していることも考慮すべき点ではないだろうか。また、材料費・人件費の高騰はなおも継続中である。新規採用についても大企業が独占傾向にあり、さらなる中小企業の疲弊が懸念される。

サービス業

<クリーニング業>

高齢者社会構造の現状、お客様も経営者も高齢化になっている。20年以上も続いている需要減少をどうすればいいのか、その対策もない。

<旅館業>

(土湯温泉)

2月15日の大雪により、宿泊のキャンセルが相次いだ。その後も一週間程度は、交通事情が悪く、客足が遠のいてしまったのは残念であった。

<理容業>

2週続けての週末の大雪で商売にならない日が続いた。特に15日～16日の大雪では雪かきだけでも大変で店も早じまいした。近所では車庫が潰れたところも数軒あった。道路も除雪していないため車も通れずほとんど人も通らない。後半少しは忙しかったが、例年に比べ2割以上売上は落ちた。3月に期待しているが…。

<廃棄物収集運搬業>

災害業務も一段落してきています。通常の業務もほぼ安定してきており、次年度の契約の打ち合わせでは人件費等の見直しが計られそうです。

運輸業

<トラック運送>

(県北地区)

トラック業界では業況の改善は見られず。

(県中地区)

人手不足により備車が集まりません。新年度の輸送体制を見直しているケースも多々あります。

<ハイヤータクシー>

2週連続の大雪により、当日、その後についても雪のため道路状況が悪く、稼働できなかった。タクシー会社車庫の屋根が雪によりつぶれた。

卸売業

<卸売業>

(県中地区)

期末に向けて、モノの動きが加速している。とりわけ事務機関連は消費税の駆け込み需要だけではなく季節的な要因も加わって、忙しさが増してきている。食料品や日用品も概ね順調。一方、建築資材はモノ不足や人手不足の影響もありややスピード感をなくしてきている。業界全体で懸念していることは仕入価格の高騰と人手不足。また、消費増税以降の景気の動きも気になる場所。

<再生資源>

2月は、2回の大雪の影響で古紙関係の収集量、入荷量が激減した。その影響で需要期に向けてメーカーの在庫も薄くなり、価格も高止まりした。しかし、3月に入り原料が集まり始めれば在庫が増え、値下げは必至である。当業界においては、価格が下がり、消費税が上がり、燃料費も増え、収集量・入荷量は増えない、という収益減の要素ばかりで、ますます厳しい状況になると思われる。

商店街

<福島市>

2月は大雪と寒さ。年間を通して売上・通行量が最も減少する月であり、今年は大雪の影響で例年よりも悪化した。春が来て暖かくなり、桜が咲くのを待つのみです。

<郡山市>

2月は大変な大雪に見舞われ、駐車台数は前年を下回ったが、駐車場売上はほぼ前年並みでした。うすい百貨店の北海道物産展が中旬から始まったのが大きいようです。物産展は、今までにはない3週間以上のロングラン開催ですが、出足は好調のようです。2月の大雪は、商店街の通りも麻痺してしまい、土日は大打撃でしたが、後半でなんとか挽回できたような感じです。

<南相馬市>

「がんばる商店街30選」に選定され、経済産業省主催の授賞式に3月3日出席してきました。賞の重みを考えながら、今後の商店街活動、まちづくりの励みとして地域の再生復興に力を注ぎたいと考えています。

<会津若松市>

冬物セールは例年通りでまずまずでした。

<いわき市>

今年の2月は、“あの雪がなかったら”の言葉に表せるように、大雪が売上の足を引っ張った。商店街にはお客様は来店されず、家から出なかった方が多かった。私たちも臨時休業せざるをえず、悔やまれる天候であった。しかしながら、道路や歩道の回復で客足も戻り、冬物最終などの消化が進んだ店舗や、消費税の駆け込みも忙しかった。電気店など全体的に低調ながら、明るい兆しも見えている。

景況天気図 2月

天気図の見方

各景況項目について「増加」(または「好転」)業種割合から「減少」(または「悪化」)業種割合を差し引いた値(D・I値)をもとに作成。その基準は右表のとおりである。

D・I値基準値

☀ 快晴	30以上	☁ 曇り	-30~-10未満
☀ 晴	10~30未満	☔ 雨	-50~-30未満
☁ うす曇り	-10~-10未満	🌧 大雨	-50未満

項目別DI 業種区分	売上高		販売価格		収益状況		資金繰り		雇用人員		業界の景況	
	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比	前月比	前年比
食料品製造	☁ -57.14	☁ -42.86	☀ 28.57	☀ 42.86	☁ -85.71	☁ -57.14	☁ -42.86	☁ -42.86	☁ 0.00	☁ -14.29	☁ -57.14	☁ -28.57
繊維製品製造	☀ 33.33	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ 0.00
木材製品製造	☁ -50.00	☁ -25.00	☁ 0.00	☀ 25.00	☁ -50.00	☁ -25.00	☁ -50.00	☁ -25.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ -25.00	☁ 0.00
鉄工機械製造	☁ -20.00	☁ -20.00	☁ 0.00	☀ 20.00	☁ 0.00	☁ -40.00	☁ 0.00	☁ -20.00	☁ 0.00	☁ -20.00	☁ 0.00	☀ 40.00
その他の製造	☁ -28.57	☁ -42.86	☁ 0.00	☀ 42.86	☁ -14.29	☁ -28.57	☁ -14.29	☁ -14.29	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ -14.29	☁ -14.29
卸売業	☁ 0.00	☁ -25.00	☁ -25.00	☁ 0.00	☁ -50.00	☁ -50.00	☁ -25.00	☁ -25.00	☁ 0.00	☁ -25.00	☁ -25.00	☁ 0.00
小売業	☁ -22.22	☁ 0.00	☁ -11.11	☀ 22.22	☁ -22.22	☁ -33.33	☁ -33.33	☁ -22.22	☁ -22.22	☁ -11.11	☁ -33.33	☁ -33.33
商店街	☁ -50.00	☁ -33.33	☁ -33.33	☁ -33.33	☁ -33.33	☁ -33.33	☁ -33.33	☁ -33.33	☁ 0.00	☁ 0.00	☁ -33.33	☁ -33.33
サービス業	☁ 0.00	☁ 0.00	☀ 14.29	☀ 42.86	☁ -28.57	☁ -14.29	☁ -28.57	☁ -14.29	☁ -14.29	☁ -14.29	☁ 0.00	☀ 14.29
建設業	☁ 0.00	☀ 20.00	☁ 0.00	☀ 40.00	☁ -20.00	☀ 40.00	☁ 0.00	☀ 60.00	☁ -20.00	☁ 0.00	☁ 0.00	☀ 20.00
運輸業	☁ 0.00	☀ 33.33	☁ 0.00	☀ 33.33	☁ -33.33	☁ -66.67	☁ -33.33	☁ -66.67	☁ 0.00	☁ -66.67	☁ -33.33	☁ -66.67

福島県ニット工業組合 『rooms28』に出展しました！

福島県ニット工業組合は、全国中小企業団体中央会の補助事業「中小企業活路開拓調査・実現化事業」を活用し、福島県の農家から農産物を生産するにあたり不要となった地域資源（柿の皮、桃の枝）から染料を抽出し、機械で糸に染色する技術開発を行うと共に、染め上げた糸を使用したニット編地や製品を試作しました。

その試作開発した「天然染料と天然媒染剤100%のニット製品・編地」（ブランド名『だて染』）の販路を開拓するため、2月18日(火)から20日(木)までの3日間、東京都渋谷で開催した国際的なファッション・雑貨の展示会「rooms28」に出展しました。

「rooms28」は、日本のファッション、デザインの発展と、世界への発信を目指して2000年より年に2回、東京で開催しており、国内の有力なメーカーや若手クリエイター・海外からも出展社として参加しています。また、有力専門店や百貨店のリディングバイヤー、アジア、ヨーロッパ各国のバイヤー等が多く来場するため、新ブランド『だて染』を展示するにはもっともふさわしい展示会でした。



新ブランド『だて染』



福島県ニット工業組合の展示ブース

本組合では、ブースに立ち寄り下さった来場者の中から、聞き取りによるアンケート調査などの求評活動を行いました。

アンケート調査を行うことで、今後の製品開発におけるニーズ把握が十分できたことに加え、『だて染』のモニターとして協力したいなどの問い合わせがありましたので、大変有効な求評活動になりました。